

お世話になっている皆様へ

三周年の節目にあたって

平素のご愛顧に深く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス警戒中ではありますが、先日6月1日をもちまして、『訪問看護ステーションは〜とふる多摩センター』は平成29年6月の開業から三周年を迎えることができました。まずは日頃よりご指導いただいている皆様にご報告とともに深く感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

特に嬉しく思うのは、多摩市愛宕の地にステーションを立ち上げた当初と現在とでは、比較にならないほど地域のつながりを実感できている点です。私たちが一貫して目指している目標は『地域の社会資源として認識していただけるようになること』です。高齢化著しい多摩ニュータウン地域において、医療・介護の他（多）職種の皆様、各自治体行政の皆様、住民の皆様ほか、すべての方々にお支えいただき、育てていただきながら活動できたことは、今後もこの地で訪問看護の運営を続けたいと願う私たちにとってはかけがえのない財産となっております。

そしてなにより、ご自分の大切な『居場所』であるお住まいに私たちの訪問を快く受け入れてくださり、療養生活の様々な側面を見せてくださることで多くをお教えくださった患者様・利用者様にはいくら感謝申し上げても言葉が足りません。在宅療養をお手伝いさせていただく中で、これまで多くの尊厳ある「苦・楽・死（くらし）」を深く心に刻み付けることができたことは、訪問看護師として決して忘れてはならない経験です。

私たちのステーションの誇りはスタッフです。看護師の活躍の場は世間に多種多様がありますが、は~とふるの看護師は皆、『ぜひ訪問看護を』という心意気で勤務している者ばかりです。なかには長い病棟勤務の中で『在るべき療養生活』について悩み抜き、訪問看護師になりたいと志願した者もおります。どの職員も患者様・利用者様の生活における喜怒哀楽に対して『はい』という素直な気持ちをもって正対する覚悟で現場に赴いております。この春にもコロナ禍の中で敢えて望んで入職してくれたスタッフがおりますし、秋口には常勤看護師を1名採用予定でもあります。従業員一同で尊い経験を共有し、24時間365日の訪問看護体制がより充実したものとなるよう精進して参ります。

以前にも別の書面で申し上げたことがありますが、『初心を忘れてはならない』のと同時に、『初心を言い訳にすることは決して許されない』ことが4年目を迎える訪問看護ステーションの基本姿勢だと心得ております。今後も皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら地域で成長したいと強く願っております。引き続き、変わらぬご厚誼の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年6月吉日

訪問看護ステーションは~とふる多摩センター

管理者/看護師 北川 恵子(左)

看護師 佐々木 冴(右)

ほかスタッフ一同

